11月8日(土)13時半~

文京区民センター-2A

ちとするものに他ならない。

余念がない。止めどなく深ま

並みマイナスに転化し(たと

根付かせてきたがゆ

を交戦諸国に呼びかけた。独

に集おう!

との戦争続行を望む米英仏は

月革命108周年記念集会

十月革命集会で高岩仁『戦争案内』上映 石垣市議会の「君が世調査」決議に抗議

ベル平和賞受賞者へのレクイエム 詩人栗原貞子の生涯を舞台化する試み

7面

10面

ガザの虐殺を止めよ!

転落した。しかし、政府・支 両院選で敗北し少数与党へと

化させることは火を見るより

配層にあるのは自ら招いた危

も明らかなのだ。

の報いとして、自公は衆・参

えに非常に控えめだが、当然 露がされた結果、遅すぎるう

戦争会談」反対!

区人民的・反動政策が強行さ

た。とりわけ第二次安倍政

公明連立政権によって数々の

れまで26年間にわたる目民・

惟による2014年の | 集団

高市の所信表明演説は、裏金 るかという策略だけである。

保三文書」の前倒し達成 (26 年度中のGDP比2%=11兆 と減税には一言も触れず、「安 本帝国主義の復活を成し遂げ 経済・軍事全方面にわたる日 ことで保守・右翼層における オンパレードだ。維新なる 議員定数削減など反動政策の 区対の少数政党一掃をねらう 円への軍事費増額など)、アベ /ミクスの継承、 改憲・軍拡 と言いつのり、自衛隊の増強・ ている。その戦争を「防衛」 再侵略戦争に突き進もうとし 米国の一極支配への回帰・植 政権との蜜月関係を深めつつ、 国人排斥を通じて貧窮する人 実戦化をおしすすめつつ、 め戦略に参画し、アジアへの 政権転覆までを目論む封じ込 中国、朝鮮、ロシアの解体・ 民地主義的野望にもとづく対 高市反動政権は、トランプ米

貫した戦争放火者は資本主

機を自らに有利にどう乗り切

民の排外主義を煽ることにも 初期には早くもその「成長」 その間にこそ危機は進行して クにさまざまな経済指標が軒 ていく。日本でも73年をピー 新自由主義政策へ舵が切られ 本が「高度経済成長」を遂げ て以後「一億総中流」と言わ れた80年代がそうしたものと に転じ、74・75年恐慌を経て いた。 世界資本主義は70年代 して想起されることがあるが 実際は、植民地主義思想

うに喇へ風潮に対して、階級 高市の初の女性首相就任に何 という概念を使わずに有効に 反論することはできない。高 か先進的な意味があるかのよ

十月革命108周年記念集会に参加を!

ウラ金議員を含む超タカ派の

日、高市早苗内閣が発足した。

1月20日、自民党と日本維新

の面々で固められた超反動極

ように働く」ことによって、 ことにはなる。しかし重要な 労働者人民をより抑圧し窮乏 のためか、である。高市が資 のは、高市がどちらの階級の ジェンダー割合を微動させる 本家階級のために「馬車馬の 働者階級のためか資本家階級 性が多数を占める「要職」 高市も女性である限りは、 は、資本主義そのもののもつ を世界中に生み落としている。 軍需産業拡大で糊塗し戦争政 矛盾と反米闘争の前進を前に 日を筆頭にする世界資本主義 策によって延命してきた。そ 3年。その制肘を逃れた米欧 レートさせファシストの群れ

カケ」問題をはじめとした利

食への増税の一方で、「モリ

緩和と独占資本優遇・減税、 時にアベノミクスによる金融 強化がすすめられてきた。 度で戦争国家・治安弾圧体制 強行成立以降の10年間、 5年の一安保関連法」(戦争法) **疋、その実体化である201**

権誘導、裏金政治が横行し

利益のために働くのか-

きた。そうした政治腐敗の暴

挫続する日本の植民地主義

しないという事実である。日 ニッポン」の自負とは裏腹に、 ターナショナリズムもこの 労働者階級の階級意識もイン 義の継続とは、戦前から戦 日本国家・人民の、侵略 で育ちづらいのは、「平和日 反動思想ではなかったの 基盤の上に再生産されてき 資本主義がつくりだす物質的 するのではなく、敗戦後 への無反省な連続のみを登 民地支配を是とする植民

りつづける戦争の危機を阻止 をようべきか。 するために、わたしたちは何 100年余という年月を隔て

と共謀しつつ、日本独占を益 勢力の思想とはすべて、米国 や靖国神社参拝に固執するの 市は何のために外国人を排斥 暴露しなければ、彼女らを追 階級の階級意識とその狙いを デオロギーなのである。その するための統合軸としてのイ **又動思想の根源である資本家** し、何のために夫婦別姓反対 彼女をはじめとした極右 配を維持しようとする資本主 革命は、第一次世界大戦とい ていても、わたしたちはとも 利潤追求を原動力とし、その 戦争の最中に獲得された。こ ている。ロシア十月社会主義 後退を強いられ、その衰退を 東欧社会主義体制の倒壊から 跳梁跋扈を可能にする世界支 が実証されている。あくなき 放火者は資本主義であること に帝国主義戦争の時代を生き 義体制がその根元だ。ソ連・ していま、その蠢動をエスカ 一貫して戦争 るほどに野蛮でありつづけ いる。常に自らに都合のと

及することにはならない。

こうした現状が示しているの

争など――において数限りな

蜂起、絶望的なテロリズム闘 族・小ブルジョワ階級青年の 何度もまたいでのツァーリ圧 の闘いは、それ以前の世紀を

政との苦闘――農民一揆や貴

く流された人民の血で書かれ

た教訓の上に築かれたものに

は、「ちょうどいい資本主義」 よりましな資本主義」は存在 主義なのだ。 にならざるをえないのが資本

そあるだろう。 ソヴェト第2回大会で、「平和 の翌日11月8日、全ロシア・ が即時停戦交渉だった。革命 義政権が真っ先に尽力したの である。誕生間もない社会主 第一次大戦を終結させたこと ロシア革命の果実の一つは、

と言われる一人あたり粗鋼消 界値2・1を下回るのは えば経済成長のバロメー 生率が総人口を維持できる 資本利潤率など)、合計特殊 費量、中小企業・非製造業の

ネスであり、拡大しつづける

る社会主義政権だからこそ成 あり、かれらを支持基盤とす それは労農兵士大衆の切願で 犠牲を払っても即時停戦を。 結される。全銭的・領土的な

し遂げた成果だった。ロシア

き着いた先が現在の戦争ビジ ー)が台頭する金融資本の行 きた。そして過剰資本(マネ

投機対象を転じながらバブル

うしたなかでも1918年、 争に乗り出したのだった。そ

ブレヒトリトウスク条約が締

朋壊と経済収縮を繰り返して

義が逃れる先はバブル経済で あり、土地、IT、住宅へと

実体経済から遊離した資本主

主義政権を潰すための干渉戦

仲告を無視し、翌年から社会

貧富の世界である。これは日

街頭デモ、国会内議会闘争を をつくり、職場ストライキと

切り結んだ闘いを展開し、資

じめ各地にソヴェト(評議会) 大衆は、ペトログラードをは

だ。人間による人間の搾取を

的移行の時代を切り拓いたの 本主義から社会主義への全般

廃絶するための生産手段の私

的所有の廃止、民族自決の原

8時間労働制、女性の社

そのものこそ、追及される る天皇制国家にならって、 の被害の上になした「経済成 義の享受してきた「豊かさ」 働者人民もその加害の歴史 配の加害責任を棚上げし結 地」化し、米軍基地被害をは 争敗戦後、沖縄を「軍事な き代物ではないのか。侵略 とも早かった。 からであり、「先進国」でもっ らには日本企業によるアジ 識すら獲得し得ずにきた 長」。しかも、侵略・植民地 かつ朝鮮戦争やベトナム戦争 盾を沖縄の人びとに押して じめとした日米安保条約の しかし、そもそも日本資 への進出は経済侵略と言 どんなに遠回りに見えてもわ 力となっていくと考える。 たしたちの運動を再生させる 働を積み重ねていくことが、 う問いに立ち返り、議論と協 想的・物資的根源は何かとい で共通の現象に他ならない。 本だけでなく、資本主義世界 十月革命の歴史から学ぶもの 現在の大衆運動の脆弱さの思

会的権利などの法制化を実現

した労働者階級の国家の出現

民族の解放闘争をどんなに奮 が、世界中の労働者と被抑圧

い立たせたことか。

るがゆえに、強盗的・侵略 ら搾取・収奪した労働力 「外部」をつくりだし、そ **源を原資とするシステム** をゆるしてしまう日和見主義 ちが同じ労働者としてすくい せる要因になった。わたした が、内部から体制を弱体化さ 衆が資本主義的価値観の浸透 要だった。なかでも、社会主 ョワ勢力との不断の闘いが必 義に押し戻そうとするブルジ だ道半ばである。社会主義社 体制が背負った多くの困難、 だすべき教訓の一つは、そう 義建設の主体である労働者大 倒壊に至る内的・外的要因の 倒壊したソ連・東欧社会主義 会内部においてこそ、資本主 は、運動内部においてもいま 全貌についての認識の共有化

> から数えても12年。 しかもそ 905年の第一次ロシア革命

然にも一日にして成らず、1 革命を成し遂げた闘いは、当

過ち、葛藤や挫折のなかにこ したかれらの主体的な弱さや 帝国主義戦争を無くすること 他ならない。

償無併合、即時停戦即時講和 に関する布告」を発し、無賠 る。わたしたちはその闘いの つ、ロシア十月社会主義革命 端緒に立つ自覚を新たにしつ ロシア革命の歴史が教えてい を絶やさず継承することを、 あること、どんなに長く厳し める世界の反帝・反戦闘争で 108周年を記念する。とも い闘いのなかでも闘争の火種 ができるのは、社会主義を求

【米丸かさね】